世界の主なウラン濃縮工場

（2024年12月現在）

国　　名	運転者	所在地	濃縮法	年間濃縮能力(tSWU※/年)	営業運転
ブラジル	Indústrias Nucleares do Brasil(INB)	レゼンデ	遠心分離法	70	2009
中国	中国原子能工業有限公司	甘粛省蘭州市	遠心分離法	500	2005
		陝西省漢中市	遠心分離法	1,000	1997
フランス	Orano CE Tricastin	ピエールラット	遠心分離法	7,500	2011
ドイツ	URENCO Deutschland GmbH	グロナウ	遠心分離法	3,600	1985
日本	日本原燃株式会社(JNFL)	青森県六ヶ所村	遠心分離法	1,050	1992
オランダ	URENCO Nederland B.V.	アルメロ	遠心分離法	5,200	1972
ロシア	TVEL, Fuel Company of Rosatom	セヴェルスク	遠心分離法	–	1953
		アンガルスク	遠心分離法	–	1954
		ノヴォウラリスク	遠心分離法	–	1964
		ゼレノゴルスク	遠心分離法	–	1962
イギリス	URENCO UK Ltd.	カーペンハースト	遠心分離法	4,400	1972
アメリカ	Louisiana Energy Services LLC	ニューメキシコ	遠心分離法	4,500	2010
	Centrus Energy Corp.	パイクトン	遠心分離法	–	2023

※SWU:天然ウランから濃縮ウランを分離する際に必要な仕事量を表す単位

出典：日本原燃（株）HP、世界の原子力発電開発の動向（2024年版）より作成